



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 Oak キャピタル株式会社

コード番号 3113 URL <http://www.oakcapital.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井博康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 秋田勉

TEL 03-5412-7474

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,036	124.4	△128	—	△133	—	△142	—
24年3月期第2四半期	462	△44.0	△382	—	△388	—	△390	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △197百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △497百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.36	—
24年3月期第2四半期	△17.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,264	1,701	74.3	75.12
24年3月期	2,439	1,891	76.9	84.04

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 1,682百万円 24年3月期 1,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	22,422,244 株	24年3月期	22,342,247 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	21,364 株	24年3月期	21,179 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	22,379,415 株	24年3月期2Q	22,147,988 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

特記すべき事項はございません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、欧州の財政危機問題や世界経済低迷への不安、長期化する円高等の影響から依然として不透明な状況が続いております。

国内外の経済動向に大きく左右される株式市場において、国内に上場する企業の約7割がPBR（株価純資産倍率）1倍を割り込んでおります。また、平成24年9月末現在の上場企業3,532社の内、約4割の1,300社程が時価総額50億円以下となっておりますが、新興市場や中堅上場企業の中には優れた技術力やユニークな製品開発力に強みを持つ企業が数多くあり、潜在能力を引き伸ばすことで企業価値を高めることができます。こうした状況下において、当社は新興市場に上場する企業並びに中堅上場企業向けに企業価値向上を目的とした「資本政策に伴う資金調達」及び「成長戦略の構築」の支援が使命であります。

当第2四半期連結累計期間のインベストメントバンキング事業においては期首より、上場企業向けに事業資金の調達支援と成長戦略の提案を実施してまいりました。企業価値を高めるため「成長シナリオ」の後押しとなる再生投資並びに成長投資を実現することが、当社の役割であると認識しております。

また、当社は、企業の優位性を活かした新たな事業の創出と投資を組み合わせた「事業プロジェクト投資」に取り組み、投資先の企業価値向上と成長支援を目指しております。

アドバイザー事業につきましては、既存の投資先に対し、営業支援や既存事業の再編、新規事業の構築などに関するアドバイザーを行ってまいりました。

産業資材事業につきましては、新商品の開発と販路の開拓に努めてまいりました。リスクマネジメント事業につきましては、新規顧客の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高10億36百万円（前年同期比、124.4%増）、営業損失1億28百万円（前年同期は営業損失3億82百万円）、経常損失1億33百万円（前年同期は経常損失3億88百万円）、四半期純損失1億42百万円（前年同期は四半期純損失3億90百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前期末に比べ、1億74百万円減少し22億64百万円となりました。減少した主な要因は、営業投資有価証券の減少によるものであります。負債は、前期末に比べ、15百万円増加し5億63百万円となりました。純資産は、前期末に比べ、1億90百万円減少し17億1百万円となりました。減少した主な要因は、四半期純損失の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前期末と比べ、1億61万円増加し3億33百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において1億77百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、営業投資有価証券の減少（投資回収）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において11百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、貸付けによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において4百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、借入金の返済が新株予約権の行使による株式の発行による収入を上回ったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	176,731	340,114
受取手形及び売掛金	134,935	112,839
有価証券	1,887	—
営業投資有価証券	1,017,371	671,143
商品及び製品	160,915	162,744
1年内処分予定の不動産	313,545	313,545
その他	38,660	82,455
貸倒引当金	△3,013	△398
流動資産合計	1,841,034	1,682,444
固定資産		
有形固定資産	58,299	54,734
無形固定資産		
のれん	317	—
その他	5,198	5,109
無形固定資産合計	5,516	5,109
投資その他の資産		
投資有価証券	447,785	443,889
その他	57,522	56,870
貸倒引当金	△1,430	△887
投資その他の資産合計	503,877	499,872
固定資産合計	567,693	559,715
繰延資産	30,941	22,662
資産合計	2,439,669	2,264,822
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,844	36,866
短期借入金	289,000	282,000
1年内返済予定の長期借入金	7,104	7,104
引当金	—	600
その他	136,630	156,111
流動負債合計	466,578	482,682
固定負債		
長期借入金	10,096	6,544
退職給付引当金	52,968	56,323
引当金	3,245	3,245
その他	15,179	14,636
固定負債合計	81,489	80,749
負債合計	548,068	563,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,145,193	3,148,953
資本剰余金	1,644,256	1,648,016
利益剰余金	△2,639,588	△2,782,028
自己株式	△9,907	△9,922
株主資本合計	2,139,953	2,005,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△264,179	△322,161
その他の包括利益累計額合計	△264,179	△322,161
新株予約権	5,215	5,215
少数株主持分	10,611	13,318
純資産合計	1,891,600	1,701,391
負債純資産合計	2,439,669	2,264,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	462,016	1,036,879
売上原価	372,514	690,420
売上総利益	89,502	346,458
販売費及び一般管理費	472,337	474,899
営業損失(△)	△382,834	△128,440
営業外収益		
受取利息	2,240	2,211
受取配当金	1,234	1,234
為替差益	—	407
業務受託手数料	800	3,912
その他	1,334	1,293
営業外収益合計	5,608	9,059
営業外費用		
支払利息	5,058	4,762
社債発行費等償却	4,993	8,185
為替差損	105	—
その他	637	815
営業外費用合計	10,795	13,764
経常損失(△)	△388,021	△133,145
特別損失		
固定資産除却損	39	1,493
投資有価証券売却損	790	—
特別損失合計	829	1,493
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,850	△134,638
法人税、住民税及び事業税	3,097	5,589
法人税等調整額	△651	△494
法人税等合計	2,445	5,094
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△391,296	△139,732
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△908	2,706
四半期純損失(△)	△390,388	△142,439

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△391,296	△139,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106,103	△57,981
その他の包括利益合計	△106,103	△57,981
四半期包括利益	△497,399	△197,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△496,491	△200,421
少数株主に係る四半期包括利益	△908	2,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,850	△134,638
減価償却費	5,275	4,045
のれん償却額	499	317
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32,579	△3,158
賞与引当金の増減額(△は減少)	510	600
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,735	3,355
受取利息及び受取配当金	△3,474	△3,446
支払利息	5,058	4,762
有形固定資産除却損	39	2
無形固定資産除却損	—	1,490
投資有価証券売却損益(△は益)	790	—
売上債権の増減額(△は増加)	12,201	12,181
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,558	△1,828
仕入債務の増減額(△は減少)	9,976	△2,164
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	168,978	292,319
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,619	1,945
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,230	3,231
その他の資産の増減額(△は増加)	16,257	△28,767
その他の負債の増減額(△は減少)	18,494	24,108
その他	5,907	8,821
小計	△182,588	183,178
利息及び配当金の受取額	3,018	2,862
利息の支払額	△5,313	△4,741
法人税等の支払額	△2,452	△3,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187,335	177,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	—	△1,884
投資有価証券の売却による収入	19,210	—
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	27,600	—
出資金の回収による収入	135	—
差入保証金の回収による収入	—	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,945	△11,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△6,500	△7,000
長期借入金の返済による支出	△3,552	△3,552
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,266	7,196
自己株式の取得による支出	△30	△14
自己株式の売却による収入	5	—
リース債務の返済による支出	—	△676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,810	△4,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	△236	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△149,437	161,494
現金及び現金同等物の期首残高	463,913	172,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	314,476	333,614

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インベスト メントバン キング事業	アドバイザ リー事業	産業資材 事業	リスクマネ ジメント 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	101,452	49,600	256,397	54,567	462,016	—	462,016	—	462,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	101,452	49,600	256,397	54,567	462,016	—	462,016	—	462,016
セグメント利益又は 損失(△)	△353,392	△12,848	△22,384	6,096	△382,529	△642	△383,171	337	△382,834

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インベスト メントバン キング事業	アドバイザ リー事業	産業資材 事業	リスクマネ ジメント 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	652,806	9,816	300,674	73,580	1,036,879	—	1,036,879	—	1,036,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	145	—	145	—	145	△145	—
計	652,806	9,816	300,819	73,580	1,037,024	—	1,037,024	△145	1,036,879
セグメント利益又は 損失(△)	△117,104	△21,068	△1,905	12,060	△128,017	△448	△128,466	25	△128,440

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

(第三者割当による株式及び新株予約権の発行)

平成24年10月22日開催の当社取締役会において、第三者割当により発行される株式（以下、「本新株式」という。）及び第三者割当により発行される第7回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）の募集を行うことについて決議いたしました。

(1) 本新株式の概要

発行する株式の種類及び数	当社普通株式1,430,000株
発行価額	1株につき70円
発行価額の総額	100,100,000円
資本組入額	1株につき35円（資本組入額の総額50,050,000円）
申込期日	平成24年11月7日
払込期日	平成24年11月8日
割当先及び割当方法	第三者割当の方法により山崎光博氏に全てを割り当てる。
資金の用途	「中小型上場株投資」に係る投資資金

(2) 本新株予約権の概要

新株予約権の総数	715個
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	当社普通株式7,150,000株（1個当たり10,000株）
発行価額の総額	5,880,875円（新株予約権1個当たり8,225円）
新株予約権の行使に際して払い込む金額の総額	500,500,000円（1株当たり70円）
資本組入額	増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときには、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
申込期日	平成24年11月7日
払込期日	平成24年11月8日
権利行使期間	平成24年11月9日から平成26年11月8日まで
割当先及び割当方法	第三者割当の方法により、Asia Equity Value LTD. に572個及び山崎光博氏に143個それぞれ割り当てる。
資金の用途	「中小型上場株投資」に係る投資資金及び「事業プロジェクト投資」に係る投資資金